

平成22年11月1日

関係者ご一同様

京都レッツラーン大学校設立準備委員会  
委員長 西之園 晴夫  
システム LSI 技術学院  
学院長 河崎 達夫

## 京都レッツラーン大学校の発足に向けた試行講座の開設のご案内

特定非営利活動法人学習開発研究所は、京都府緊急雇用対策事業「NPOからの提案型事業」に基づき委託された、『京都レッツラーン大学校の構築』事業を進めてまいりました。これまで、大学校設立に向けての国際フォーラム(平成22年1月29日開催。OECDの教育部 パトリック ヴェルキン氏、フランス国立工芸院アンヌ・マリー・シャロー女史他の講師)を開催し、多数の国内の遠隔教育関係者の出席をえてスタートしました。その後、京都レッツラーン大学校設立準備委員会が設置されて順調に準備を進めて参りました。このたびシステム LSI 技術学院の協力を得て、同学院が発売している CD-ROM 教材をオンラインで学習できるモデル教材として作成しましたので、これを用いた試行講座の開設を企画しましたのでご案内申し上げます。

### 記

#### 京都レッツラーン大学校の概要

未曾有の経済危機による失業者や生活保護世帯が急増している事態に、雇用可能な職能を育成するシステムの整備が遅れています。そこで原則無償で、かつ正規採用に耐えられる高レベルの専門的職能を習得できる学びの場(「京都レッツラーン大学校」)を平成21年より3ヵ年計画で構築する計画を推進しております。もちろん社会人や学生の学習の場としても大いに活用できるものです。

このレッツラーン大学校は、大学で実績を積み上げてきた多人数協調自律学習システムを応用し、在職ならびに在宅での専門職能学習支援システムとして構築されます。

#### システム L S I 技術学院の概要

システムLSI技術学院は、プロジェクト・リーダーを養成するための民間の教育機関です。半導体超微細化技術と高集積システムLSI技術が急速に進化する中で、システムLSI新製品開発を担う技術者の育成が急務となっています。

システムLSI技術学院ではIT・高度情報通信時代の担い手である先端半導体技術者を育成しています。11年の実績と経験により、充実した講師陣、豊富な教育カリキュラムで幅広い要望に対応しています。

## 試行講座「エレクトロニクス技術者実力向上講座」の概要

### (1) 初回の試行講座名

#### 「CMOS アナログ回路 (1)」

電子回路・半導体技術開発分野で成長が期待されている「CMOS アナログ回路」の技術者育成を目的とした試行講座とします。

学習内容は、アナログ回路研究第一人者の谷口研二先生（大阪大学大学教授）の講義ビデオを Web 上で視聴します。

### (2) 実施期間

平成22年11月15日～平成23年3月31日

### (3) 定員・参加料

定員：約10名（基礎知識を問うテストを実施）

参加料：無料 ただしシステム使用料，資料代：一般参加者：2000円

学生参加者：1000円

### (4) 参加対象

電子回路の知識を習得しキャリアアップをめざす者。特に京都府内の企業の技術職、大学生・大学院生、専門学校生、失業者、生活保護世帯を対象とする。

### (5) 学習システム及び講座の特色

学習方法：従来の教示型 e-ラーニングとは異なり、受講者同士が教え学び合い協力して課題をクリアしていく協調自律学習をベースとした e-ラーニングを採用

機能：クラウド・コンピューティングを利用した「キーワード別掲示板」

学習支援：参加者を支援する電子回路専門のメンター2名（大学院生）を配置  
ならびにシステム LSI 技術学院の専門家の支援も予定

学習成果：確認テストの実施

### (6) 企画・実施

主催：京都レッツラーン大学校設立準備委員会

(特定非営利活動法人学習開発研究所内)

〒612-8105 京都市伏見区東奉行町1番地 桃山グランドハイツ 714号室

TEL/FAX 075-601-1423

共催：システム LSI 技術学院

〒541-0044 大阪府中央区伏見町2丁目6-4 M&T 淀屋橋ビル 6F

TEL：06-6222-4416 FAX：06-6222-4417

※詳細は別紙「エレクトロニクス技術者実力向上コース 試行講座 募集要項」  
をご参照ください。

以上